

# 令和5年度 マイクロプラスチック調査（速報）

## 1 調査日及び場所

調査日：令和6年1月16日～17日

調査場所：大川（大里橋）、村中川（村中川橋）、貫川（穂貫橋）※1、相割川（相割橋）※2 合計4地点

※1：環境基準点の神田橋の上流で河川工事が実施されていたため、工事の影響のない上流地点へ変更して実施した。

※2：環境基準点の恒見橋の上流で河川工事が実施されていたため、工事の影響のない上流地点へ変更して実施した。

## 2 測定方法

河川マイクロプラスチック調査ガイドライン（令和3年6月、環境省）

## 3 分析結果及び考察

### (1) マイクロプラスチックの材質別個数密度結果

(個/m<sup>3</sup>)

項目	材質		河川名	大川	村中川	貫川	相割川
	名称	略称	調査地点	大里橋	村中川橋	穂貫橋	相割橋
材質別個数密度	ポリエチレン化合物	PE		0.05	0.20	0.15	0.20
	ポリプロピレン	PP		0.05	0.90	0.10	0.45
	ポリエチレンとポリプロピレンの化合物	PEPP		-	0.10	0.05	-
	ポリエチレンテレフタレート	PET		0.15	0.70	0.15	0.30
	ポリウレタン	PUR		-	0.10	-	-
	ナイロン	PA		-	0.10	-	-
	ポリメチルメタアクリル	PMMA		-	0.05	-	-
	ポリスチレン	PS		-	0.10	-	-
	アクリロニトリブタジエンスチレン（ABS樹脂）	ABS		-	0.10	-	-
	その他のプラスチック	-		-	0.15	0.05	-
		総計		0.25	2.50	0.50	0.95

### (2) 種類とサイズについて

#### <種類>

- ・個数密度の大きかった村中川橋では、PP や PET の割合が高かった。
- ・その他の地点でも、PP や PET の割合が高く、次いで PE も高かった。

#### <サイズ>

- ・個数密度の大きかった村中川橋では、長径 0.2～2.5mm 未満のサイズの小さな PET と長径 2.6mm 以上の PP が多かった。
- ・相割橋では、長径 1.3～1.8mm の PP や PET が多かった。
- ・個数密度が小さかった大里橋及び穂貫橋では、出現傾向はみられなかった。